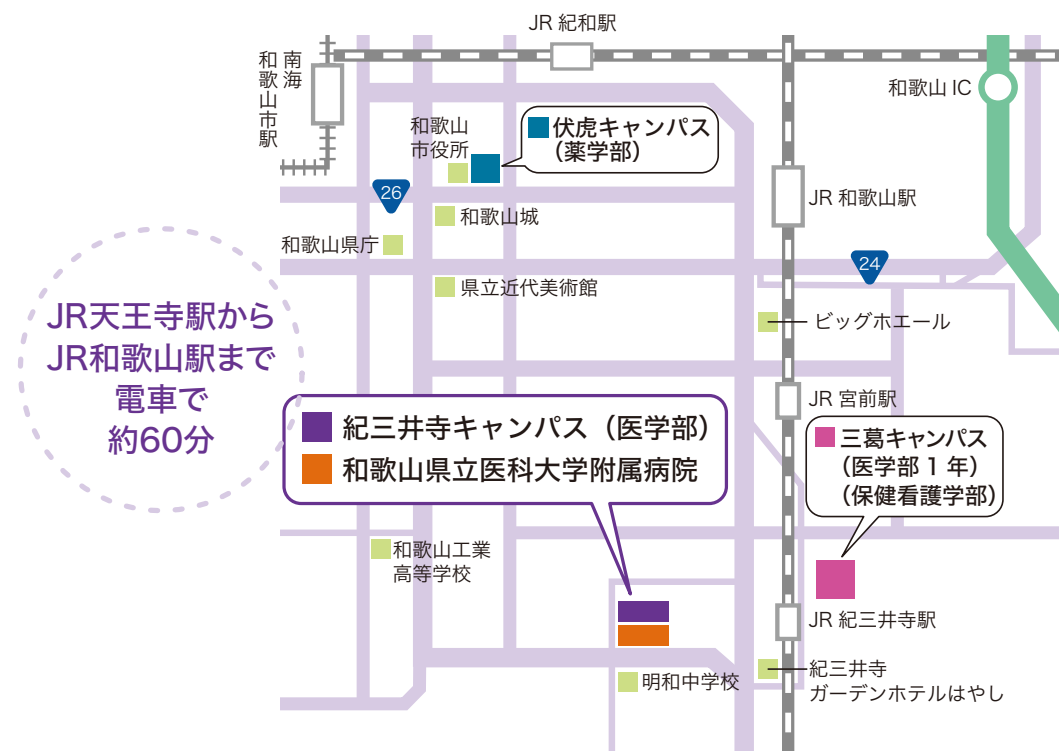


Access Map



紀三井寺キャンパス(医学部)へのアクセス

電車のご利用

JRきのくに線 紀三井寺駅下車 徒歩約7分

バスのご利用

JR和歌山駅または南海和歌山市駅から和歌山バス「医大病院」又は「医大病院前」下車

JR和歌山駅から乗車の場合

医大病院行き「医大病院」下車すぐ

和歌山マリーナシティ・海南駅前・海南藤白浜行き「医大病院前」下車徒歩3分

南海和歌山市駅から乗車の場合

医大病院行き「医大病院」下車すぐ

和歌山マリーナシティ・海南駅前・海南藤白浜方面行き「医大病院前」下車徒歩3分



令和9年 和歌山県立医科大学 医学部案内

和歌山県立医科大学 紀三井寺キャンパス・附属病院

〒641-8509 和歌山市紀三井寺811番地1

Tel: 073-447-2300(代表) Tel: 073-441-0702(学生課)

和歌山県立医科大学 三葛キャンパス

〒641-0011 和歌山市三葛580番地

和歌山県立医科大学 伏虎キャンパス

〒640-8156 和歌山市七番丁25番1

<https://www.wakayama-med.ac.jp/>

＼ プッシュ通知 ／



入試やイベントの情報等を
プッシュ通知で配信しています。
設定はこちらから

＼ ホームページ ／



＼ 大学案内 ／



WAKAYAMA MEDICAL UNIVERSITY 2027

和歌山県立医科大学 医学部 GUIDE BOOK



Wakayama Medical University

来たれ、若い力！



和歌山県立医科大学 医学部長

川股 知之

理観に富む人材、高度で専門・総合的な医学的能力を身につけた人材、コミュニケーション能力及びリーダーシップを備えた人材、地域医療及び国際的に活躍できる人材を育成すること」を教育目標として掲げています。高度な専門知識や技術を習得するための教育はもちろんのこと、チーム医療を実践する能力を身につけるために、医療系総合大学の特徴を活かし3学部合同講義・実習を行っています。これにより、チーム医療に重要な多様な視点から医療を理解する力、そして、コミュニケーション能力及びリーダーシップ能力を育成します。さらに、幅広い視点と国際感覚を身につけるために国際交流にも力を入れております。研究面では医学部教育の中にM.D.-Ph.Dコースを設置するとともに、大学院では医療系総合大学の特徴を活かして医学薬学総合研究科を設置し、世界に貢献できる高度医療人・研究者の育成に取り組んでおります。

海と山に囲まれた自然豊かな和歌山で、皆さんが未来に思いを馳せ、勉学に励み、友人・師と出会い、高度な医療を実践する能力と豊かな人間性を涵養し、医療・医学の進歩に貢献できる最良の医師・研究者になることができるよう、医学部の教職員一同、全力で支援します。

皆さんは、医学生となった自分の姿を思い浮かべながら、そして、この大学は良き医師になれるよう導いてくれるかを考えながらこのパンフレットを眺めているのかもしれませんが。さて、皆さんにとって良き医師像とは、どのようなものでしょうか？“自分自身や家族を安心して任せられる医師”が共通するイメージの1つではないでしょうか。それでは、安心して任せられる医師に必要な要素は何でしょうか？

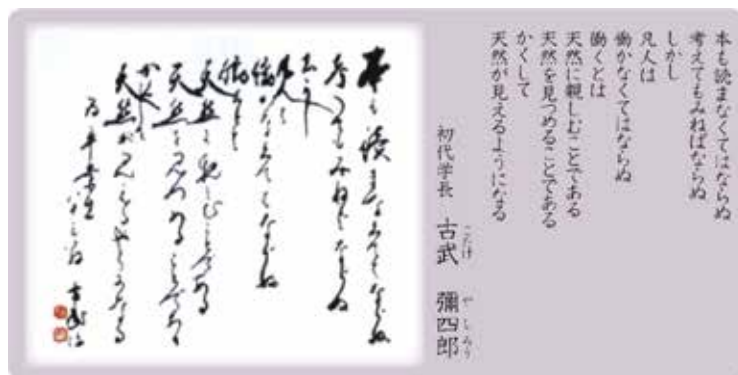
「良き医師は病気を治療し、最良の医師は病気を持つ患者を治療する」という言葉があります。病気を治療するためには最先端の知識・技術が不可欠です。さらに、それらを有効に活用するにはチーム医療が必要です。また、患者は、病気を患ったことからさまざまな不安・悩みを抱えています。したがって、患者を治療するためには、知識・技術に加え、“寄り添う心”と“思いやり”を持った豊かな人間性が必要です。

一方で、最良の医師であっても、救えない命や治らない疾患・症状が存在します。最先端の知識・技術の習得は、先人の築き上げた歴史を学ぶことであり、現時点で何がわかっているかを学ぶことです。救えない命や治らない疾患・症状を克服するためには、「何がわかっていないのか」を理解し、先人の築き上げた歴史に新たなページを加えていく必要があります。これは研究によって成し遂げられます。したがって、医師には科学的探究心が必要です。

和歌山は、医聖華岡青洲が、1804年に世界に先駆けて全身麻酔による乳がん手術に成功した地です。医学部では、青洲の医療理念「内外合一・活物窮理」を基本姿勢とし、「豊かな人間性と高邁な倫



初代学長 古武彌四郎先生之像



校章

マークの意匠は、和歌山が生んだ医聖・華岡青洲が全身麻酔薬として用いた植物「まんだらげ(チョウセンアサガオ)」の花に「医」の文字をデザインしたものです。

「まんだらげ」の花の絵は陶芸家富本憲吉氏の作で、もとは昭和38年に開催された医学総会のために描かれたものでした。その後「医」の文字を付加して、和歌山県立医科大学のマークとして永年親しまれてきた歴史を経て、昭和62年に正式に校章として認定されました。



和歌山県立医科大学 学長

中尾 直之

長を続け、医療の発展に寄与し、社会貢献を果たす使命と責任を担っています。そこで、本学は「地域を支え、世界に挑む：医療の未来を築く医療系総合大学」という基本指針を掲げ、医療人の育成と大学病院として高度先進医療を提供することにより地域社会に貢献しています。さらに、世界に挑戦すべく教育、研究、医療の最先端レベルの知見をこの和歌山から世界に発信し続けています。皆さんも私たち

医学の新たな未来に向かってチャレンジ

和歌山県立医科大学は1945年に開学し、長く医学部医学科の単科大学でしたが、2004年に2番目の保健看護学部を開設し、そして、2021年4月に3番目の学部として薬学部を開設しました。近畿の公立大学では初めての薬学部を擁する大学となり、名実ともに医療系総合大学として今年で6年目を迎え、今後も挑戦と成長

とともに医学・医療の新たな未来に向かってチャレンジしていただきたいと思います。

本学は、医学部、保健看護学部、薬学部の3学部の医療系総合大学の特色を活かして、3学部相互の多職種連携教育やケアマインド教育を通して、医療人として必要な倫理観をはじめケアマインドやコミュニケーション能力を育成します。その他の特徴として、3年次には約10週間の基礎・社会医学教室への研究配属の期間を設けています。この期間では、基礎医学教室に所属して、実際の実験手技や医学研究の進め方を学びます。また、医学部在学中に大学院博士課程の一部を履修できる大学院準備課程(M.D.-Ph.Dコース)を設け、リサーチマインド旺盛な学生の期待に応えています。さらに、本学は海外の12大学と学術交流協定を結んでおり、在学中の留学も積極的に支援します。

このように、本学では総合的・専門的な基礎・臨床能力を高めるとともに医師として倫理観、人間性の涵養(かんよう)を図り、地域医療に貢献し、国際的にも活躍できる全人的医学教育を目指しています。

沿革

昭和20年 2月	和歌山県立医学専門学校設置認可(4年制、美園)	平成11年 5月	和歌山県立医科大学統合移転完成(紀三井寺)
昭和22年 6月	和歌山県立医科大学予科設置認可(3年制)	平成11年 9月	生涯研修・地域医療センター開所
昭和23年 2月	和歌山県立医科大学設置認可(旧医科大学4年制)	平成12年 6月	救命救急センター設置
昭和25年 3月	和歌山県立理科短期大学併設認可(2年制)	平成15年 1月	ドクターヘリ導入
昭和26年 3月	和歌山県立医学専門学校及び予科閉校	平成16年 4月	保健看護学部開設
昭和27年 2月	学制改革による和歌山県立医科大学設置認可	平成17年 4月	大学院医学研究科修士課程開設・博士課程再編
昭和30年 1月	和歌山県立医科大学進学課程設置認可	平成18年 4月	公立大学法人和歌山県立医科大学に組織改編
昭和30年 3月	和歌山県立理科短期大学閉校	平成18年 8月	文部科学省の「特色GP」、「現代GP」に同時選定
昭和30年 4月	和歌山県立医科大学開校(新制6年制、40名)	平成19年 8月	文部科学省の「学生支援GP」に選定
昭和33年 7月	学位規程の制定認可(学位審査権)	平成19年 10月	医学部定員85名届出受理
昭和35年 3月	和歌山県立医科大学大学院設置認可	平成20年 4月	大学院保健看護学研究科及び助産学専攻科開設
昭和36年 3月	旧制和歌山県立医科大学廃止	平成20年 10月	医学部定員95名届出受理
昭和38年 4月	大学本部及び基礎医学部門移転認可(九番丁)	平成21年 11月	医学部定員100名届出受理
昭和39年 1月	学生定員60名へ変更承認	平成25年 4月	大学院保健看護学研究科博士後期課程開設
昭和40年 4月	進学課程移転(紀伊)	令和 3年 4月	薬学部開設
平成 7年 12月	看護短期大学部併設(3年制)	令和 6年 4月	大学院医学薬学総合研究科開設

医学部の使命

本学の教育理念

和歌山県立医科大学は、医学、保健看護学及び薬学に関する基礎的、総合的な知識と高度で専門的な学術を教授研究するとともに、豊かな人間性と高邁な倫理観に富む資質の高い人材を育成することにより、和歌山県の医療・保健の充実を図り、もって文化の進展と人類の健康福祉の向上に寄与する。

1・2ページ	学長・医学部長あいさつ 沿革・医学部の使命
3・4ページ	医学部の特徴 医学部の3つのポリシー
5ページ	カリキュラム概要
6ページ	入試概要
7ページ	県民医療枠について
8ページ	地域医療枠について
9ページ	和医大生キャンパスライフ

医学部の教育目標

医学部教育においては、幅広い教養、豊かな思考力と創造性を涵養し、豊かな人間性と高邁な倫理観に富む資質の高い人材、高度で専門的かつ総合的な医学的能力を身につけた人材、コミュニケーション能力及びリーダーシップを備えた協調性の高い人材、地域医療及び健康福祉の向上に寄与するとともに、国際的にも活躍できる人材を育成することを目標とする。

11ページ	学生アンケート
13ページ	研修医メッセージ
14ページ	部活紹介
17ページ	国際交流
18ページ	学生メッセージ
19ページ	年間スケジュール
20ページ	入学金・授業料・奨学金など
21ページ	キャンパスマップ

和歌山県立医科大学

医学部の特徴

医療系総合大学
の強みを活かしたカリキュラム

医学部 薬学部 保健看護学部

3学部の共同講義を実施

教員と学生の距離が近い教育
教員 1人当たりの学生数

約1.8人

医学部定員600名に対して、教員約340名
(令和7年5月1日現在)

国家試験合格率
医師国家試験合格率

医師 **94.2%**
(新卒:過去10年間の結果)

自習室を完備

附属病院での充実した臨床実習
県内唯一の特定機能病院であり、
高度救命救急センターも設置

豊富な症例で学べる

ドクターヘリも配備

教材作成
60コンテンツ

VRを活用した 医学教育

本学はデジタル医療教育用の仮想現実(VR)システムを導入し、令和5年4月から全国の医学部でも導入が進んでいないVRを使った新しい医学教育を開始しました。

医学生はVRを用いて心臓カテーテル検査や血管内治療をバーチャル体験するとともに、様々な疾患の3DモデルをVR空間内で自由に操作し各種疾患の理解を深めています。

VRゴーグルをかぶって学習



◀現場体験型VR

医療現場を
擬似体験▶

◀3D-CT VR

解剖・疾患を
3Dで理解▶

黒潮医療人養成プロジェクト

過疎高齢化や遠隔地の医師確保、将来の南海トラフ地震被害等多くの課題を共有する、
本学と高知大学、三重大学が協働で実施しているプロジェクトです。
各県の地域医療人材養成拠点病院での実習やICT学習、相互交流等を通じて、
地域ニーズに応える総合的な診療能力を身につけるためのプログラムを実施しています。

年次に応じた3段階のプログラム

- ・体験実習(2・3年次): 県内の地域医療人材養成拠点病院で2日間実習
- ・アクティブラーニングコース(1~5年次): 地域総合診療コースと災害・救急コースに分かれ、学会参加・発表や、県内の災害拠点病院での実習などを展開
- ・長期滞在型クリニカルクラークシップ(6年次): 従来の選択制臨床実習の枠組みを利用し、3週間の長期実習を実施

学びの共有・発信

- ・合同シンポジウム開催: 毎年3月に本プロジェクトから得た学びを3大学の教員・学生、地域の皆さんと共有(2027年度は和歌山で開催予定)
- ・K-PICSの取り組み: ポケットエコーを活用し、地域医療の必須スキルであるポイントオブケア超音波検査を習得
- ・e-Learningコンテンツ作成: 3大学でe-Learningコンテンツを作成し、いつでもどこでも学べる環境を提供

詳しくはこちらから▶
黒潮医療人養成プロジェクトHP
<https://kuroshio-pjt.com/>



医学部の3つのポリシー

アドミッションポリシー(入学者受入方針)

求める人物像

和歌山県立医科大学医学部では大学の理念に基づき次のような人を求めています。

1 科学的探求心と豊かな人間性・高邁な倫理観を有する人

医学を志す人には、旺盛な科学的探求心とともに豊かな人間性、高い倫理観が必要です。人としての豊かな感性、人間性を有し、ボランティア活動などを通じて社会との深い係わりがあるとともに、高い倫理観を有する人を求めます。

2 医学を修得するための幅広い能力を有する人

医学の修得には、自然科学のほか人文・社会科学に関する学問の修得が必要です。自然及び人間・社会についての幅広い知識と向学心、自分自身で問題を解決できる能力を持った人を求めます。

3 コミュニケーション能力及びリーダーシップを備えた協調性の高い人

医師には医学的知識とともに患者および家族、職場の同僚と十分コミュニケーションできる能力(情報の共有と良好な患者-医師関係が築ける能力)が必要です。医療人として自己研鑽ができ、自己の理念を持っているとともに協調性に優れ、リーダーシップを発揮できる人を求めます。

4 地域医療に関心があり、国際的視野を有する人

本学は県民の医療を支えるとともに、国際的にも活躍できる医師を育成します。地域医療に関心があるとともに、国際社会でも活躍できるための能力を高め、積極的に地域社会および国際社会に貢献できる人を求めます。

入学者選抜の基本方針

1 学校推薦型選抜

学業のみならず、課外活動等において特に優れた成績あるいは実績を有する者で、医学・医療に貢献したいという強い意欲があり、人格的に特に優れた学生を求めています。

大学入学共通テスト、高等学校長の推薦書、調査書、自己推薦書及び面接試験を課し、本学医学部のディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーを踏まえ、入学者に求める能力・適性を「学力の3要素」と関連付け、多面的・総合的な評価による選抜を実施します。

2 一般選抜(前期日程)

高い学力を有する者で、医学・医療に貢献したいという強い意欲があり、人格的に特に優れた学生を求めています。

大学入学共通テスト、個別学力検査及び面接試験を課し、本学医学部のディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーを踏まえ、入学者に求める能力・適性やその評価方法を「学力の3要素」と関連付け、多面的・総合的な評価による選抜を実施します。

カリキュラムポリシー(教育課程の編成方針)

1 教育課程編成

ディプロマ・ポリシーに掲げる知識と能力を修得するために、教養、基礎医学、臨床医学に関する体系的で組織的な教育を提供します。知識に偏重した旧来型の教育ではなく、学修成果基盤型教育を行います。

2 教育内容・方法

1 1年次は教養教育が中心となります。医学への準備教育や自然科学、人文・社会科学および外国語に関する知識、医師としての倫理を学びます。

また、入学後早い時期に医療の現場を体験する早期臨床体験実習や、3学部合同で患者の生の声を聞き、学生同士で意見交換し、その内容を発表するケアマインド教育などで、能動的学習やコミュニケーション能力の獲得を目指します。

4 3年次後半から4年次終了まで学ぶ臨床医学では基礎医学・社会医学との連携を図り、臓器別に疾患の概念、診察、検査、診断、治療の基本を系統的講義で学びます。少人数グループにわかれ、症例シナリオを用いる問題基盤型学習も含まれます。

3 学修成果の評価方法

シラバスに記載された学修目標について、授業中の小テストや発表、レポート、筆記試験、実技試験などの多面的な評価方法により、それぞれの到達状況を客観的に評価します。4年次、6年次に行われる医療系大学間共用試験実施評価機構によるCBT(Computer Based Testing)、Pre-CC OSCE(Pre-Clinical Clerkship Objective Structured Clinical Examination)、Post-CC OSCE(Post-Clinical Clerkship Objective Structured Clinical Examination)などの試験も評価に含めます。

2 1年次後半から臨床の基礎となる基礎医学の領域を中心として学びます。肉眼解剖から遺伝子レベルに至る人体の構造と機能を学び、さらに病気の病態、病因、薬物の作用、および社会と疾病の関わりについても学びます。

5 共用試験に合格した学生は臨床実習生(医学)として5年次から臨床実習を行います。臨床実習では、すべての科を網羅的に実習するとともに長期間の診療参加型実習を学内外で行い、臨床推論能力を含めた実践的な臨床能力の獲得を目指します。

3 3年次に行う基礎配属では、自分の興味のあるテーマを選び、基礎医学講座(社会医学系講座を含む)・先端医学研究所研究部・共同利用施設・人体病理学講座の研究室で実際の研究に触れます。大学院準備課程(M.D.-Ph.Dコース)で自身の研究を継続することもできます。

6 地域実習および国際交流を積極的に行い、広い視野を養い、地域社会および国際社会で活躍できる資質を習得する教育を行います。

ディプロマポリシー(学位授与方針)

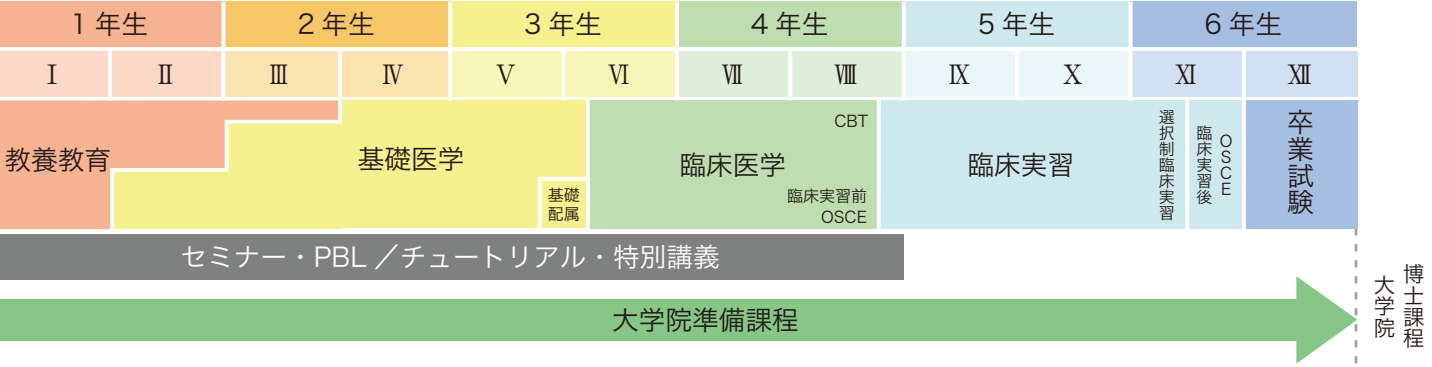
和歌山県立医科大学医学部は次の能力を獲得した者に学士(医学)の学位を授与します。

- 1 命を扱う職業である医師として、より高い倫理観、社会人としての良識を備えているもの
- 2 総合的、専門的医学知識とともに医学研究や臨床研修を行うに足る技能を有しているもの
- 3 単に知識、技能を獲得しているのみではなく、それらを統合的に活用でき、患者の社会的、心理的背景にも配慮することができるもの
- 4 国際的視野を有し、地域での医療ができるもの

カリキュラム概要

和歌山県立医科大学医学部は、知識に偏重した従来型の教育を脱却し、知識・技能・態度(倫理観)を総合的に育成できる教育を目指して成果基盤型教育を行っています。また、構造・機能、臓器別の横断的・総合的なカリキュラムを導入し、1～4年次にも患者に接する機会を増やすなど国際基準に適合し、臨床・研究能力の高い医師の育成が出来るカリキュラムとなっています。令和8年度に一部カリキュラムの改変を行いました。

1年次は教養教育が中心となりますが、新カリキュラムでは1年次の後半から基礎医学の講義を開講し、低学年から医学・医療に触れる機会を設けています。2～3年次にかけては、臨床の基礎となる基礎医学の領域を中心として学ぶとともに、3年次に設定された基礎配属では、基礎医学等の研究室に所属し、実際の研究に触れ、医師としての研究マインドを身につけます。3年次の後半から4年次には臨床医学の基礎的な内容を学び、共用試験に合格した学生は臨床実習生(医学)として臨床実習を開始します。5年次から6年次の前半には診療参加型臨床実習を行います。臨床実習後OSCEを行い、



教養教育科目	基礎医学科目	臨床医学科目
教養教育科目の授業は、1～2年前期にかけて行われます。人としての幅広い見識と、専門医学への準備としての基礎知識を身につけることを目的としています。 また、入学後早い時期に医療の現場を体験する「Early Exposure 早期臨床体験実習」を実施し、医学及び医療に対する関心を高め、これからの医学を学ぶにあたっての問題意識を深めるカリキュラムがあります。	基礎医学科目の授業は1～3年にかけて行われます。「基礎医学」は医学の原点であり、臨床医学と表裏一体をなすものです。肉眼解剖から遺伝子レベルに至る人体の構造と機能を学び、さらに病気の病態、病因、薬物の作用、および社会と疾病の関わりについても学びます。 また、各講座に少人数で配属され、自分の興味のあるテーマを選び、基礎医学等の研究室で実際の研究に触れる機会（基礎配属）があります。	臨床医学科目は3年後半から始まり、病気の診断、治療、予防について学びます。臨床実習は4年後半～6年前半にかけて、少人数に分かれて行います。 医療の現場を体験しながら、良き医師としての態度や知識・技術を身につける場であり、教科書からは得がたいものを自ら学びとります。講義には、臓器別に疾患をとらえた系統的講義と各科の特徴をふまえた講義があり、臨床医学を総合的に理解するための工夫が凝らされています。
●数学 ●統計学 ●医学統計学 ●数理科学 ●物理学 ●化学 ●生物学 ●情報処理 ●英語・ドイツ語・フランス語・中国語 ●保健体育 ●ケアマインド教育 ●法学 ●心理学 ●社会学 ●医療社会科学 ●医療行動科学 ●物理学実習 ●化学実習 ●生物学実習 ●早期臨床体験実習 ●教養セミナー ●医学入門 ●医学概論 ●データサイエンス ●キャリア形成 ●教養選択科目 ●臨床倫理・哲学 ●基礎理科	●生体分子の構造と機能 ●細胞の構造と機能 ●人体の正常構造と機能 ●基礎医学英語 ●特別講義 ●生体と微生物 ●病因と病態 ●人の死（法医学） ●免疫と生体防御 ●生体と薬物 ●生態と病害動物 ●遺伝子と遺伝子異常 ●医学英語 ●解剖学実習 ●生理学実習 ●生化学実習 ●薬理学実習 ●病理学実習 ●微生物学実習 ●基礎配属 ●研究倫理 ●地域実習	●血液系 ●代謝内分泌系 ●感染・腫瘍免疫系 ●循環器系 ●呼吸器系 ●消化器系 ●神経系 ●腎・泌尿器系 ●特殊感覚系（耳鼻咽喉科） ●特殊感覚系（眼科） ●皮膚科学 ●運動器系 ●精神医学系 ●生殖系 ●小児科学 ●麻酔科学 ●救急医学 ●臨床検査医学 ●画像医学・放射線治療 ●リハビリテーション ●歯科口腔外科学 ●緩和医療 ●病態栄養治療学 ●医療情報学 ●個人情報 ●医と法 ●医療安全 ●腫瘍内科学 ●形成外科学 ●リウマチ・膠原病系 ●衛生学・公衆衛生学 ●病理診断学 ●地域医療 ●健康管理 ●総合診療 ●IT医療 ●がんゲノム ●臨床英語 ●特別講義（東洋医学） ●看護体験実習 ●病棟実習 ●臨床実習入門 ●臨床実習

臨床技能の評価を行います。

また、患者の方々の心の痛みにも目を向け、社会的な支援システムなども理解し、地域医療にも早期から慣れ親しむためのケアマインド、地域医療マインド育成にも力を入れており、1年次より早期臨床体験実習や地域福祉施設体験実習を行い、2年次には保育園実習・障害者福祉施設実習を行っています。さらに、シミュレーターを用いて、より実践的な臨床技能を身につけることができる臨床技能研修センターも併設しています。

研究面では、大学院博士課程の一部を履修できる「大学院準備課程」(M.D.-Ph.Dコース)を設置し、医学部在学中に研究の基礎を学ぶことができるほか、大学院履修期間の短縮も可能となります。これらの取り組みを通じて、本学では総合的・専門的な基礎・臨床能力を高めるとともに医師としての倫理観、人間性の涵養を図り、地域医療に貢献し、国際的にも活躍できる全人的医学教育を目指しています。

令和9年度入学試験の概要（予定）

募集人員・出願資格・入試日程・入試科目・出願方法等について、学生募集要項を必ずご確認ください。

選抜者区分		学校推薦型選抜	一般選抜(前期日程)					
募集人員		一般枠・・・6名程度 (県内募集)	一般枠・・・60名程度 (学校推薦型選抜の「一般枠」の入学者数により若干名増減する。)					
		県民医療枠A・・・8名程度 県民医療枠B・・・3名以内 (全国募集) (注)県民医療枠A、Bは優先順位を付け、併願することができます。	県民医療枠A・・・10名程度 (学校推薦型選抜の「県民医療枠A」の入学者数により若干名増減する。)					
		地域医療枠・・・10名 (県内募集)	県民医療枠C・・・2名程度 (学校推薦型選抜の「県民医療枠B」で募集人員に満たない場合は、その不足分を募集人員に追加する。) (注)県民医療枠A、Cは優先順位を付け、併願することができます。					
主な出願資格		・高等学校を令和9年3月に卒業見込みの者か令和8年3月に卒業した者 ・調査書の全体の評定平均値 4.3 以上の者 (注)推薦人員は高等学校1校につき、一般枠3名以内、県民医療枠A 2名以内、県民医療枠B制限なし、地域医療枠3名以内	高等学校を卒業した者及び高等学校を令和9年3月卒業見込みの者					
選抜方法	第一段階選抜 (大学入学共通テスト)	一定以上の学力水準を満たした者を選抜するため、大学入学共通テストの成績により、第一段階選抜を行います。	以下のとおり大学入学共通テストの総合得点かつ志願倍率により実施します。 <table><tr><th>大学入学共通テストの総合得点</th><th>志願倍率</th></tr><tr><td>原則として630点以上※</td><td>約3.4倍(募集人員72名程度)</td></tr></table>		大学入学共通テストの総合得点	志願倍率	原則として630点以上※	約3.4倍(募集人員72名程度)
	大学入学共通テストの総合得点	志願倍率						
	原則として630点以上※	約3.4倍(募集人員72名程度)						
	第二段階選抜 (個別学力検査等)	「学校長による推薦書」 「調査書」 「自己推薦書」 「面接」	英語	「英語コミュニケーションⅠ」「論理・表現Ⅰ」 「英語コミュニケーションⅡ」「論理・表現Ⅱ」 「英語コミュニケーションⅢ」「論理・表現Ⅲ」				
数学			「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」 「数学A」「数学B(数列)」 「数学C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)」					
理科			「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」 「生物基礎・生物」から2科目選択					
		「大学入学共通テスト」「面接」						

※一般選抜(前期日程)の第一段階選抜における大学入学共通テストの総合得点は、独立行政法人大学入試センターから公表される大学入学共通テストの平均点(中間発表)によっては、630点未満でも合格となる場合があります。その場合、合格に必要な新たな大学入学共通テストの総合得点を出願開始前までに大学ホームページで公表します。

※学校推薦型選抜は、第一段階選抜合格者の中から、学校長による推薦書、調査書、受験生が記述した自己推薦書及び面接により、総合的に評価し合格者を決定します。

※一般選抜は大学入学共通テストの成績、個別学力検査の成績及び面接の結果を総合的に評価して合格者を決定します。従って大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総計が合格者最低得点を上回っていても不合格となる場合があります。

入試結果

年度	区 分	募集人数A	志願者数B	受験者数C	入学者数D	うち出身校		志願倍率 B/A	競争倍率 C/A
						県内	県外		
令和8年度	推 薦	24名程度	74	28	24	20	4	3.1	1.2
	前 期	76名程度	209	169	76	14	62	2.8	2.2
	合 計	100名	283	197	100	34	66	2.8	2.0
令和7年度	推 薦	24名程度	68	27	25	20	5	2.8	1.1
	前 期	76名程度	341	227	75	10	65	4.5	3.0
	合 計	100名	409	254	100	30	70	4.1	2.5
令和6年度	推 薦	24名程度	77	26	25	20	5	3.2	1.1
	前 期	76名程度	342	229	75	16	59	4.5	3.0
	合 計	100名	419	255	100	36	64	4.2	2.6

県民医療枠について

目的

和歌山県内の公的病院において地域医療に携わるとともに、和歌山県医療の指導的・中心的な役割を担う人材を、大学入学時から15年間一貫した卒前卒後教育によって育成するために平成20年より設置しました。

また、和歌山県内で医師不足が深刻な産科医、小児科医、精神科医を育成するために令和5年度より卒業後の診療科を指定した県民医療枠Bと県民医療枠Cを新設しました。

どの募集枠も卒業後9年間のキャリア形成の一部について、和歌山県内で中核的役割を果たす公的医療機関等を中心に行うことを条件としています。

募集枠について

県民医療枠 A

- ・和歌山県内で従事する医師を育成する募集枠（診療科の指定なし）。
- ・学校推薦型選抜及び一般選抜で募集。

県民医療枠 B

- ・和歌山県内で「産科」に従事する医師を育成する募集枠。
- ・学校推薦型選抜で募集。

県民医療枠 C

- ・和歌山県内で「産科・小児科・精神科」のいずれかに従事する医師を育成する募集枠。
- ・初期臨床研修修了年次に3診療科の中から診療科を選択する。
- ・一般選抜で募集。

キャリア形成プログラム（コースイメージ）

県民医療枠 A の入学者

	9 年								
	県内勤務期間								
本学医学部	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目	6 年目	7 年目	8 年目	9 年目
医学生 1～6 年生	本学での 初期臨床研修		専門研修	2年 地域派遣		専門研修		2年 地域派遣	
			●和歌山県内の専門研修プログラムに登録						

県民医療枠 B の入学者及び県民医療枠 C のうち「産科」を選択する者

	9 年								
	県内勤務期間								
本学医学部	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目	6 年目	7 年目	8 年目	9 年目
医学生 1～6 年生	本学での 初期臨床研修		3年 地域派遣（産科）			本学等での専門研修 （産婦人科）		2年 地域派遣（産科）	
			●和歌山県内の専門研修プログラムに登録						

県民医療枠 C のうち「小児科」もしくは「精神科」を選択する者

	9 年								
	県内勤務期間								
本学医学部	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目	6 年目	7 年目	8 年目	9 年目
医学生 1～6 年生	本学での 初期臨床研修		3年	地域派遣（小児科・精神科）		本学等での専門研修 （小児科・精神科）		2年	地域派遣 （小児科・精神科）
			●和歌山県内の専門研修プログラムに登録						

※詳細は、和歌山県のホームページでご確認ください。
<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/050100/career/careerkeiseiprogram.html>



地域医療枠について

目的

和歌山県内のへき地医療拠点病院及びへき地診療所等で勤務する医師を育成するために、和歌山県の医療政策の一環として平成20年に設置されました。

卒業後9年間のキャリア形成の一部について、へき地医療拠点病院等を中心に行うことを条件にしています。

募集枠について

和歌山県内のへき地医療拠点病院及びへき地診療所等で勤務する医師を育成する募集枠。

学校推薦型選抜で募集。

なお、和歌山県内の高等学校を卒業（卒業見込み）の者、もしくは、和歌山県外の高等学校を卒業（卒業見込み）であって、出願時に扶養義務者（現に本人を扶養している者）が引き続き3年以上和歌山県内に居住している者が出願対象となります。

キャリア形成プログラム（コースイメージ）

	9 年								
	県内勤務期間								
本学医学部	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目	6 年目	7 年目	8 年目	9 年目
医学生 1～6 年生	本学での 初期臨床研修		3年 地域派遣			本学等での専門研修		2年 地域派遣	
			●和歌山県内の専門研修プログラムに登録						

※詳細は、和歌山県のホームページでご確認ください。
<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/050100/career/careerkeiseiprogram.html>



和歌山県医師確保修学資金の貸与制度について

目的

和歌山県では県内の医師の確保及び充実を図るため、将来医師として勤務しようとする方に対し、修学資金貸与制度を設けています。

募集枠ごとの勤務条件等を満たした場合、**貸与金の返還義務が免除**となります。

貸与対象者

県民医療枠 B
 県民医療枠 C
 地域医療枠

）の入学者

貸与金

1 か月 自宅外から通学する者 15万円
 自宅から通学する者 10万円

貸与期間

6年間（通常）

※詳細は、和歌山県のホームページでご確認ください。
<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/050100/ishisyugaku/ishisyuugaku.html>



和医大生のキャンパスライフについて



3 年生
中道 夢心

1Day Schedule

7 : 00	起床
8 : 50	授業
12 : 40	昼休憩（昼食：学食）
13 : 40	授業
16 : 10	授業終了 自習
18 : 00	部活
20 : 00	部活終了
21 : 30	帰宅 自由時間
24 : 00	就寝



キャンパスについて

私は実家から電車で40分ほどかけて通学しています。1年次の教養科目は三葛キャンパス、それ以降は紀三井寺キャンパスで授業を受けますが、どちらも駅から徒歩10分圏内です。学食はメニューが豊富で、私もお昼休みは毎日利用しています。周辺にはスーパーや飲食店も多く、自炊派も外食派も暮らしやすい環境が整っていると思います。放課後は静かな図書館で集中して自習することができます。

授業について

授業は1コマ70分で、1年次後半から基礎医学の専門的な学習が本格的に始まります。和医大は先生と学生の距離が非常に近いのが魅力で、疑問点があれば先生のもとへ気軽に質問に行ける環境が整っています。先生方も非常に熱心に指導してくださるので、一つひとつの知識をしっかりと積み上げていくことができます。

課外活動について

私は水泳部に所属し、週2回練習に励んでいます。ほぼ初心者からのスタートでしたが、先輩方が優しく迎えてくださり、今では三学部の枠を超えた大切な仲間ができました。ご飯に行ったり、勉強や私生活の相談をしたりする時間は私にとって最高のリフレッシュになっています。また、M.D.-Ph.Dコースの活動として、紀葉祭では色覚異常のVR体験展示のお手伝いをしました。

学生生活について

入学前は勉強への不安もありましたが、同じ目標を持つ仲間と支え合い、楽しみながら乗り越えることができました。本学は勉強だけでなく、部活や研究など自分のやりたいことに全力で取り組める環境が整っています。M.D.-Ph.Dコースで低学年から研究に携わり、海外研修にも挑戦していますが、先生方も全力で後押ししてくれています。心強い仲間や先生に囲まれ、日々充実した学生生活を送っています。

5 年生
秋元 一輝

1Day Schedule

7 : 30	起床
8 : 15	術前訪問・説明
9 : 00	手術（担当患者）
12 : 15	術後訪問・説明
13 : 00	昼食
14 : 00	手術見学
16 : 15	セミナー
18 : 00	部活動 / アルバイト
24 : 00	就寝



キャンパスについて

紀三井寺キャンパスの目の前には海が広がり、夏にはBBQや花火大会があってとても楽しいです。春には桜が満開ですし、四季折々の楽しみ方ができます。自然が多くのかみかみですが、天王寺駅まで約1時間と近く、いいところ取りなのも魅力です。キャンパスそのものも綺麗ですし、図書館も充実していて、勉強に集中できる環境が整っています。頭上をドクターヘリが通り過ぎるのも和医大ならではの和医大に来て良かったなと感じています。

授業/実習について

CBT/OSCEの合格を経て、いよいよ臨床実習が始まりました。先生方の外来や手術を間近で見られるので、座学よりも深い学びに繋がっています。手術の日には、手術着を着て、先生方と共にオペに臨むこともあります。印象的なことは、全てが教科書通りではないということです。そこに臨床の難しさがあり、面白さがあるのだと実感しました。全ての科を回る中で、卒業後の進路選択について考えられる貴重な経験だと感じています。

課外活動について

私はボート部に所属しています。大学に入って初めてボートという競技を知りましたが、部の雰囲気と、大学生ならではのスポーツ、自然と触れ合えるスポーツという点で入部を決めました。部活は縦・横の繋がりを作る絶好の場ですし、その人間関係の中で学ぶことも多いです。それに、何より楽しい！自分はボート部に入って本当に良かったなと思います。4月の新歓中、色々と巡る中で自分に合った部活を探してもらえればなと思います。

チャレンジできる環境

和医大にはチャレンジ精神の強い仲間が多いです。そしてそれを手助けしてくださる先生方や学生課の方々、認め合える仲間たちと本当に環境に恵まれています。心電図検定や留学する人など、とても多種多様です。自分自身「K-PICS」にも所属し、仲間たちとエコーの練習をしています。また、その活動を通じて学会発表もさせていただきました。和医大は色々なことに挑戦でき、仲間と高め合える最高の環境だと実感しています！

和医大生キャンパスライフ Q&A

Q 入学して気づいた和歌山県立医大の良いところ



Q 学食のおすすめメニュー

1 和医大釜揚げ

2 チキン南蛮

3 カツカレー	6 和医大サラダ
3 サーモンビビンバ丼	6 カレーライス
3 からあげ	6 大学芋

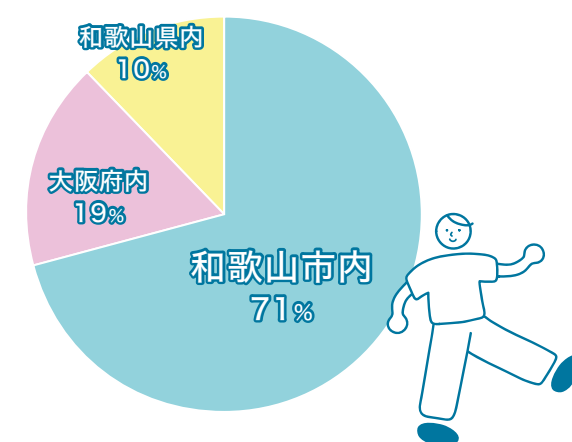
Q キャンパスでおすすめの場所



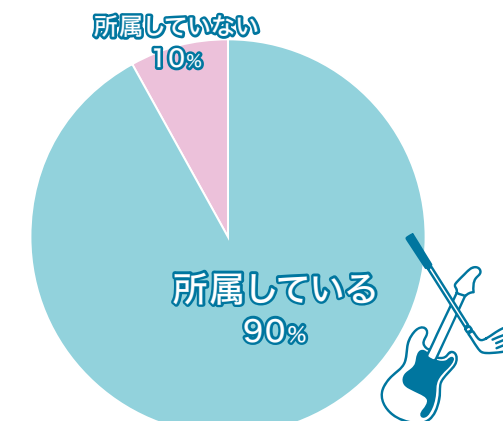
Q 学校帰りによく行く場所

買い物	・スーパーマーケット ・百均
飲食店・カフェ	・コーヒー屋 ・定食屋・レストラン ・ラーメン屋 ・居酒屋
部活・娯楽など	・図書館 ・ジム ・アニメグッズの店 ・部屋・体育館 ・ゴルフの打ちっぱなし ・カラオケ

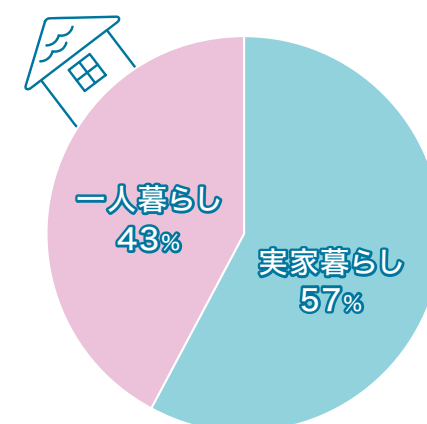
Q どこから通学していますか？



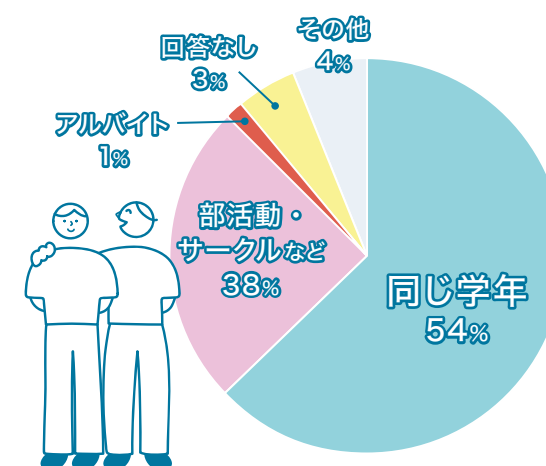
Q 課外活動団体(部活・サークル等)に所属していますか？



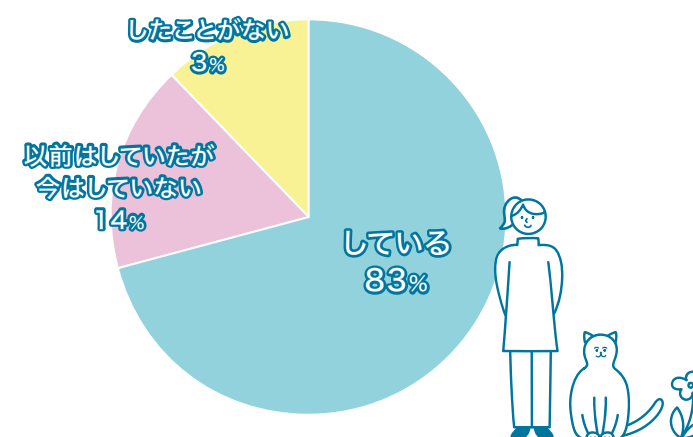
Q 一人暮らし or 実家暮らし？



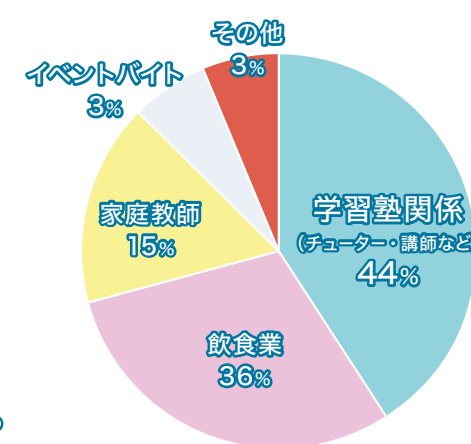
Q 友だちになったきっかけは？



Q アルバイトをしていますか？



Q どのような業種のアルバイトをしていますか？



※医学部生を対象としたキャンパスライフに関する調査(令和8年3月)

研修医からのメッセージ



受験生の皆さんへ

研修医2年目
金 聖太



受験生のみなさん、はじめまして。この度は和歌山県立医科大学の案内をごいただきありがとうございます。みなさんにとって少しでも参考になればと思い、和医大での学生生活と初期臨床研修について、僕の経験を少しお話しさせていただきます。

みなさんは今、大学受験に向けて周り全員がライバルのような感覚で勉強していることが多いと思いますが、和医大での勉強は友人とともに協力しながら支え合うスタイルであることが大きな特徴です。和医大医学部は1学年が約100名で、同期同士や先輩・後輩、人と人のつながりは強いと感じます。互いに支え合いながら困難を乗り越えていけることが本学の強みではないかと思います。

また、和医大での学生生活は、授業や実習に加えて、クラブ活動を軸に過ごすことが多いです。県外の高校から進学した僕にとって、このクラブ活動が人とのつながりをもつ大きな要素になったと思います。僕は軟式テニス部に所属していましたが、大会に向けて練習した日々や仲間たちとともにつかった栄冠、旅行など多くのイベントと、大学生活における思い出はクラブ活動抜きでは語れないほど多くを占めています。クラブ活動で得た経験、交友関係は、とても貴重で大きな財産になっています。

次に、附属病院での初期臨床研修についてお話しします。当院での臨床研修は、診療科が多彩であること、研修を希望する診療科選択の自由度が高いことが大きな特徴です。具体的には、疾患群ごとに診療科が細分化されているため、個人個人のニーズにあった研修がしやすく、さらには各診療科の研修期間を1か月単位で比較的自由に選択できるので、とにかくいろんな科を回りたい方、ある程度は科を決定していて集中的に研修を行いたい方、どちらにとっても研修しやすいプログラムになっています。

そして当院におけるもう一つの特徴が研修医の人数で、毎年60人前後、1年目・2年目合わせて120名超と非常に多いです。同期が多いからこそ分野ごとの相談もしやすく、互いを刺激し合いながら高め合える優れた環境となっています。大学のころからの友人に加え、さらに交友関係が広がり、毎日楽しく充実した日々を送っています。

最後になりますが、受験生のみなさんにとっては、目の前の勉強に追われる日々の中、進学先を決定しなければならない大変な時期かと思いますが、今回この冊子を手にとってくださったのも何かの縁、進学先決定の際に少しでも和医大のことを思い出していただければ幸いです。不安も多い時期とは思いますが、体調に気を付けて最後まで頑張ってください。



感染予防研修

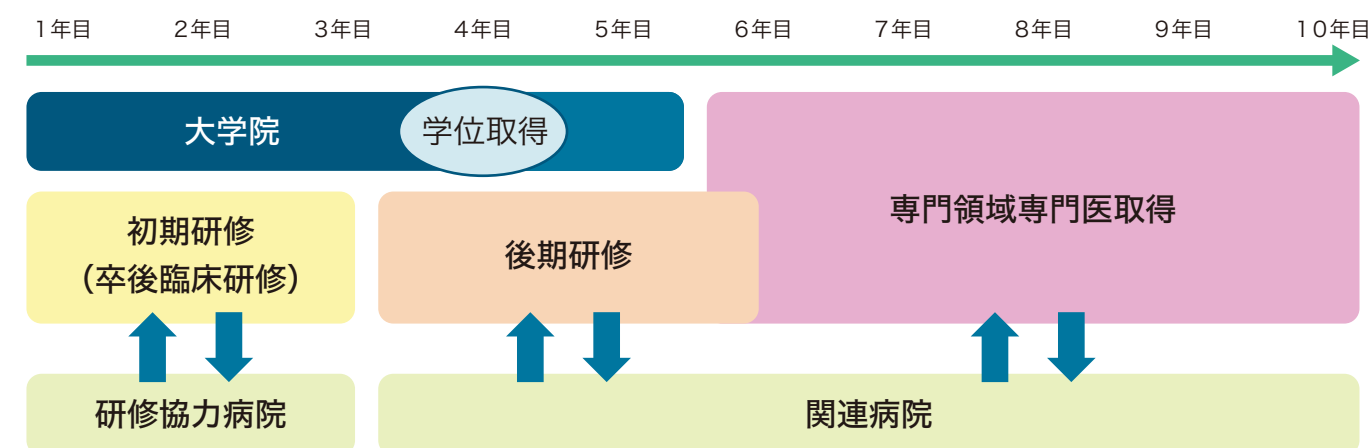


令和8年度採用研修医集合写真



卒後臨床研修センター(高度医療人育成センター3階)

和歌山県立医科大学附属病院研修イメージ (一般入学枠の場合) ※卒業年数等はイメージです



部活紹介

大学では現在 25 の体育会と 20 の文化会が活動をしています。

課外活動は、3学部合同で活動しており、大学全体での交流の場となっています。

体育会

25 団体

卓球部／軟式庭球部／ゴルフ部／バレーボール部／フットサル部／空手道部／ヨット部／準硬式野球部／ラグビー部／剣道部／スキー・山岳部／合気道部／柔道部／陸上競技部／ボート部／水泳部／バスケットボール部／ダンスサークル／バドミントン部／サッカー部／軟式野球部／硬式庭球部／女子バレーボール部／硬式テニスサークル／ソフトテニスサークル

文化会

20 団体

軽音楽部／裏千家茶道部／音楽研究部／ESS部／保健看護茶道部／Wakayama Will／アカベラ部／演劇部／華道部／クイズ研究会／釣魚部／米国医学研究会xUSMLE／新聞部／手話サークル／わくわく子育てボランティア／ミュージックボランティアクラブ／手芸サークル／薬学ボランティアサークル／K-PICS／お笑いサークル

体育会

- ① 部活動・サークルの PR ポイント
- ② 受験生へのメッセージ

硬式庭球部



- ① こんにちは！硬式テニス部です！私達は近畿大会、西医体を目標に、部員全員で楽しく、全力で取り組んでいます！経験者はもちろん、初心者も大歓迎です！
- ② 苦しい時期もあると思いますが、自分を信じて、最後まで諦めず粘ってみてください！みなさんの第1志望合格を願っています！



@waidai_tennis



@waidai_tennis

軟式庭球部



- ① 週 2,3 で活動し、春・夏・秋の3つの大会に参加しています！お花見や野球大会、スキー・スノボ旅行など、他にも行事が盛り沢山です！
- ② 受験生の皆さん、こんにちは！つらいことも沢山あると思いますが、諦めずに頑張ってください！応援しています！！



@wmusoft_tennis



@wmusoft_tennis



HP
<https://nante.kanbu.wixsite.com/my-site>

合気道部



- ① 医薬看合同の部活で、週に2回稽古を行っています！ほとんどの部員が大学から合気道を始めています。
- ② 合気道部一同、皆さんを心より応援しています！春に会えるのを楽しみにしています！



@wmuaikidou



@wmuaikidou

サッカー部



- ① 医薬看合同の部活です！プレイヤーとマネージャーが一丸となって勝利を目指しています！初心者大歓迎！！
- ② 最後まで諦めず頑張ってください！皆さんと一緒にサッカーができるのを楽しみに待っています！



@waidai_soccer

次ページへつづく

部活紹介

準硬式野球部



- ①初心者から経験者まで多くの選手が活躍しています! 医薬看どの学部の方でも入れます!一緒に野球しましょう!
- ②皆さんと春にグラウンドで会えることを楽しみにしています!受験勉強頑張ってください!



バドミントン部



- ①バドミントン部は和医大運動部の中で最も部員数が多い人気の部活動です。医薬看合同で活動しており、みんな仲良しで楽しい部活です!
- ②受験勉強頑張ってください!!皆さんと来年会えるのを楽しみに待っています!!



陸上競技部



- ①陸上競技部は医薬看合同の部活で、学年、種目、本気度に関わらず、みんなで仲良く、自分のペースで活動しています!
- ②最後まで諦めずに頑張ってください!春から陸上競技部で共に大学生活を楽しみましょう!!



空手道部



- ①空手道部は毎週火・金、医薬看合同で練習しています。部員の自主性を重んじ、日々楽しく練習しています!
- ②受験頑張ってください!合格された際には、ご縁があれば一緒に活動しましょう!心から応援しています!



ゴルフ部



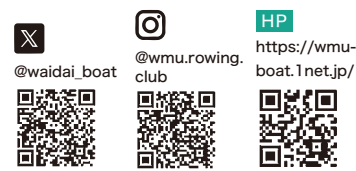
- ①ゴルフといえば生涯スポーツ!部員はほぼ全員初心者で、先輩に教えてもらいながらみんなで成長しています。
- ②コツコツ努力してゴールへ突き進む姿勢は勉強もスポーツも同じです。一緒に大学ライフを楽しみましょう!



ボート部



- ①医看合同で仲良く活動しています!ほぼ全員が大学からはじめています!BBQ、部旅行等イベント豊富で楽しい部活です!
- ②今の努力が将来に繋がります!夢に向かって頑張ってください!ボート部で待ってます!!



フットサル部



- ①フットサル部です!週2回、医薬看合同で初心者から経験者までみんなで楽しく活動しています!
- ②和医大は部活も盛んで充実した毎日が送れます!理想の大学生活を思い描いて最後まで頑張ってください!



卓球部



- ①医薬看合同で週3日活動しています。初心者から経験者まで多くの人が活躍しており、またイベントも豊富です!
- ②受験勉強がんばってください!!みなさんと会えるのを卓球部一同楽しみにしております!



スキー・山岳部



- ①医薬看歓迎!競技スキーを行っています!西医体を目指して、春夏秋も週2で活動しています。冬は長野県などへ!観光地での合宿や新歓旅行も!
- ②皆さんと会えるのを楽しみにしています!夢に向かって諦めず、受験勉強頑張ってください!和医大から応援しています!



文化会

裏千家茶道部



- ①週一回お稽古をしています。部員は約40人で、兼部可能です。秋には和歌山城近くのお茶室で卒業茶会を行います。
- ②初心者大歓迎です。歴史ゆたかな和歌山で、一緒に茶道をしましょう!

軽音楽部



- ①医薬看合同で主にビッグバンドジャズを演奏しています。医・薬学のキャンパスで練習でき、どの学部の方も活動しやすいです!
- ②楽器をしていた方、大学で新しく楽器を始めたい方、ぜひ一緒に和医大軽音楽部で楽しい演奏活動しましょう!



Wakayama Will



- ①医薬看合同の災害医療サークルです。東日本大震災をきっかけに結成され、今年は大学生の防災意識の向上を目標に災害医療について楽しく学んでいます!
- ②防災ってちょっと遠い存在?そんな人こそ大歓迎です!ぜひ一緒に学びましょう!あなたの一歩を待っています!!



K-PICS



- ①学生段階から超音波手技を磨き、医学生エコー大会や学会発表、学生メディカルラリー等にも参加しています。
- ②今の勉強は必ず患者さんを救う力になります。苦しい時も、毎日1mmずつ成長し、諦めずに進んでください。



- ①部活動・サークルのPRポイント
- ②受験生へのメッセージ

国際交流

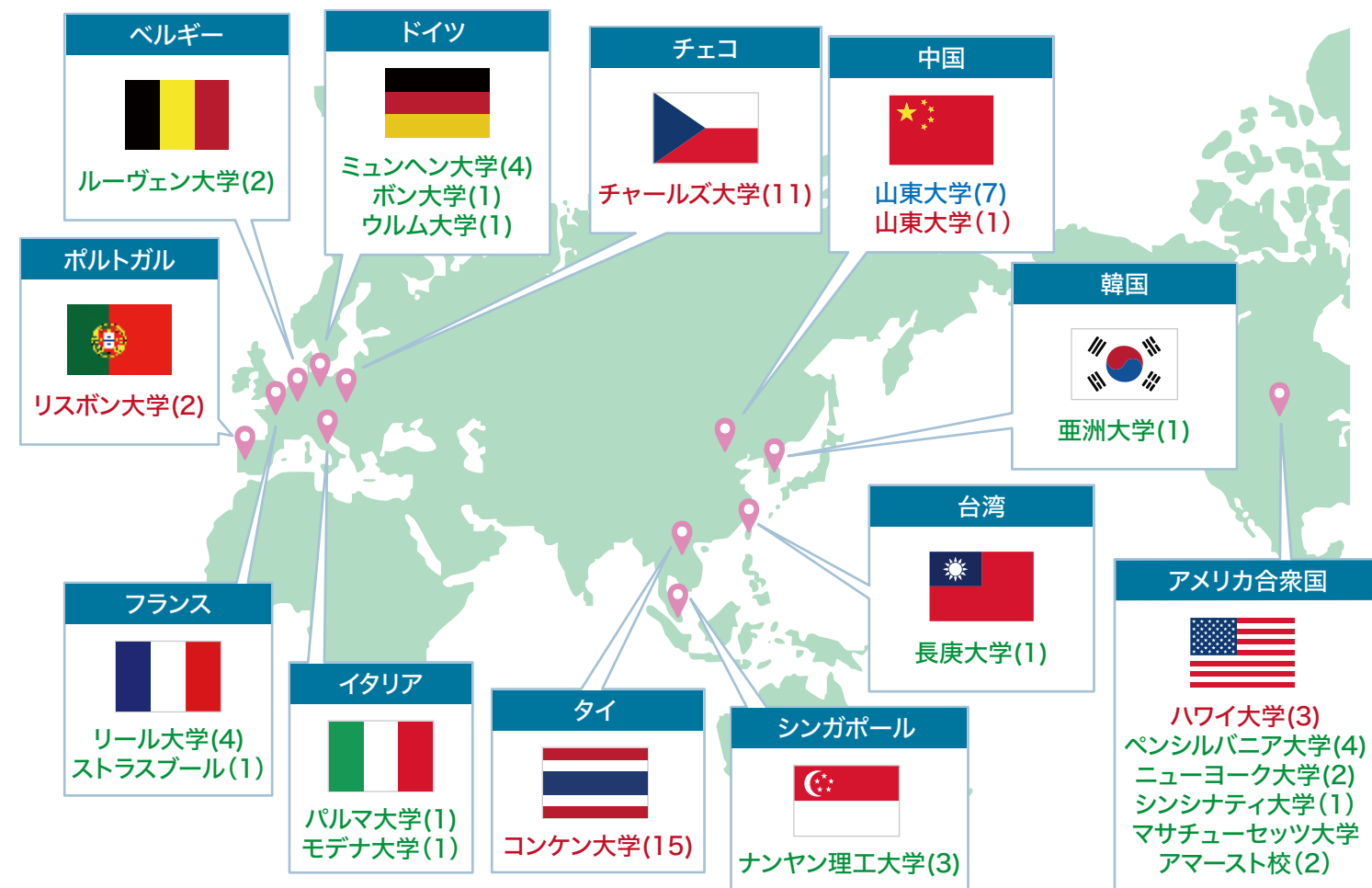
本学では、教育及び研究の面で活発な国際交流が行われています。昭和61年度に本学と中国の山東大学と学術交流協定を締結し、平成17年度に医学部学生4名と保健看護学部学生5名の公式訪問が初めて実現しました。

また、平成18年度からは、国際交流センターを設置し、米国、中国、タイの大学との交流など、国際交流を推進しています。現在、8か国12大学と協定を締結し、留学生の派遣・受入を行うとともに、教員により学術交流を行っています。平成25年3月にチェコ共和国のチャール

ズ大学との交流協定を締結したほか、平成28年2月米国ハワイ大学、平成29年にインドネシア共和国のウダヤナ大学、令和5年2月にそれまで学部間協定で交流を続けていたタイ王国マヒドン大学と大学間協定、令和6年10月にポルトガル共和国リスボン大学、12月に中国西南交通大学、令和7年7月に韓国亜洲大学と学生交流に関する協定を締結し、拡大させています。さらに、外国人研究者や外国人留学生を毎年積極的に受け入れるなど、本学の国際交流はますます活発に展開されています。

過去5年の海外留学派遣状況

赤字:臨床、緑字:基礎配属、青字:学生交流



学術交流協定締結先

国名	協定先		
中華人民共和国	山東大学	香港中文大学	西南交通大学
タイ王国	マヒドン大学	コンケン大学医学部	ブラパ大学
インドネシア	ウダヤナ大学		
チェコ	チャールズ大学第二医学部		
アメリカ合衆国	ハワイ大学		
ポルトガル共和国	リスボン大学		
カナダ	ビクトリア大学		
韓国	亜洲大学		

International exchange

基礎配属での留学体験記

4年生 萩原 佑和



私は海外基礎配属として、約3か月間アメリカのマサチューセッツ州立大学アマースト校に留学し、結核菌に関する研究に取り組みました。

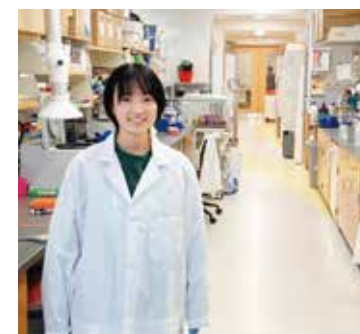
基礎配属では、大学3年次に研究室に所属して研究活動を行います。私は本学の海外基礎配属という制度でアメリカの大学にて実験に携わりました。

研究では、実験手技を学ぶだけでなく、得られた結果について考察し、次に何を調べるべきかを考える過程がとても印象に残っています。一つのことから分かると、そこからまた新たな疑問が生まれ、研究に終わりはないのだと実感しました。毎日が新しい発見の連続で、研究の楽しさや奥深さを

を知る貴重な経験となりました。帰国後も、この経験をきっかけに大学で結核菌の研究を続けています。

また、ラボの方々はとても温かく、毎日楽しく充実した時間を過ごすことができました。アメリカでの生活は日本とは大きく異なり、自由で刺激にあふれた毎日でした。休日には、ニューヨークやボストン、ロサンゼルスへの旅を楽しみました。慣れない環境で生活する中で、自分から行動する力や新しいことに挑戦する姿勢も身につきました。

この留学は、研究への関心を深めるだけでなく、自分の将来について考える大きなきっかけとなりました。この経験を将来医師としても活かしていきたいと思っています。最後になりましたが、この文章が受験生の皆さんにとって、和歌山県立医科大学で学ぶことの魅力を感じるきっかけとなれば嬉しいです。



選択臨床実習での留学体験記

6年生 佐内 美月



私は本学の提携校留学制度を利用し、リスボンで4週間の臨床実習に参加しました。海外の医療現場を肌で感じたいという強い希望から、前半は外科、後半は心臓外科を選択しました。

実習初日、医局秘書さんから「1週間前から来るはずだった」と日程の齟齬を指摘され、受け入れに関する行き違いから不安なスタートとなりました。しかし、直ちに自ら大学の窓口へ出向いて事情を説明し、交渉した結果、無事に研修を開始することができました。また、ポルトガル語のカンファレンスや英語での質疑応答に当初は緊張しましたが、翻訳アプリの活用や現地学生への積極的な働きかけを通じ、言語の壁を越えて学びを深めました。学生から「英語の練習になるから助かる」と歓迎されたことは、不完全な語学力でも行動し続ける勇

気を与えてくれました。

特に感銘を受けたのは、現地の学生が患者の病態だけでなく、経済状況や家族構成といった生活背景に深く踏み込んでいた点です。彼らが多角的な視点を医師と共有する姿勢を目の当たりにし、医療の本質を再考させられました。帰国後の国内実習では、私自身も患者様の背景を意識した傾聴を実践しています。今回の留学は、医療とは単なる治療にとどまらず、一人ひとりの人生を理解し寄り添うことであると再認識する、極めて貴重な機会となりました。この経験を支えてくださった方々への感謝を忘れず、今後も患者様一人ひとりに真摯に向き合う医師を目指して努力していきたいです。



年間スケジュール

4	上旬	入学式／新入生ガイダンス		入学式
	中旬	新入生研修		
	下旬	学生健康診断		
5	上旬			西日本医科学生総合体育大会 西日本医科学生総合体育大会激励会
	中旬			
	下旬			
6	上旬			夏期休業(7月下旬～8月下旬) O S C E (6年)
	中旬			
	下旬			
7	上旬	西日本医科学生総合体育大会(8月上旬～中旬)		オープンキャンパス
	中旬			
	下旬			
8	上旬			篤志解剖体慰霊祭、C B T (4年)
	中旬			
	下旬			
9	上旬			紀葉祭(大学祭)
	中旬			
	下旬			
10	上旬			OSCE (4年)
	中旬			
	下旬			
11	上旬			冬期休業(12月下旬～1月上旬)
	中旬			
	下旬			
12	上旬			卒業式・学年末休業(3月中旬～下旬)
	中旬			
	下旬			
1	上旬			卒業式
	中旬			
	下旬			
2	上旬			卒業式
	中旬			
	下旬			
3	上旬			卒業式
	中旬			
	下旬			

入学金・授業料・奨学金・保険・アパート・アルバイト

入学金・授業料(令和8年度実績)

入学金	県内生	282,000円
	県外生	752,000円
授業料	年 額	535,800円

※在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料が適用されます。

高等教育の修学支援新制度

住民税非課税世帯とそれに準ずる世帯を対象に、学生生活に必要な生活費等をカバーする給付型奨学金と授業料等減免による支援を行う制度です。令和7年度からの支援拡充により、多子世帯に属している学生は所得制限なく授業料減免を受けられます。

世帯所得金額に基づく区分	給付奨学金支給月額		減免額(年額)	
	自宅通学者	自宅外通学者	入学金	授業料
第Ⅰ区分	29,200円	66,700円	282,000円	535,800円
第Ⅱ区分	19,500円	44,500円	188,000円	357,200円
第Ⅲ区分	9,800円	22,300円	94,000円	178,600円
第Ⅳ区分(多子世帯)	7,300円	16,700円	282,000円	535,800円
多子世帯	支給額算定基準額に応じて支給		282,000円	535,800円

※「入学金」の減免は、入学月分から支援を受けられる学生が対象です。

奨学金制度

学業・人物とも優秀かつ健康で、経済的理由により修学が困難である学生に対して、日本学生支援機構、地方公共団体及び各種団体等による奨学金制度があります。

※日本学生支援機構貸与奨学金については、右の表のとおりです。
※高等教育の修学支援新制度の給付奨学金と同時に第一種奨学金を受ける場合、貸与月額から減額又は増額されることがあります。

(令和8年度)		
種 類	区 分	貸与月額
第一種奨学金(無利子)	自 宅通学者	20,000円or 30,000円or 45,000円
	自宅外通学者	20,000円or 30,000円or 40,000円or 51,000円
第二種奨学金(利子付)		2万から1万単位で 上限12万円までの 金額

学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険

学生が教育研究活動中、通学途中、課外活動中に不慮の事故により災害を被った場合の経済的負担の軽減や、正課、学校行事、及びその往復途中で、他人にケガをさせたり、他人の財物を破損したことにより被る法律上の損害賠償を補償するため、全ての学生に対し、日本国際教育支援協会の「学生教育研究災害傷害保険(学研災)」及び「学研災付帯賠償責任保険(医学賠)」への加入を義務付けています。

(令和8年度)		
種 類	保険料	保険期間
学研災	4,800円	6年間
付帯賠償(医学賠)	3,000円	6年間
計	7,800円	

入学手続の際に加入していただきます。

アパート等

学生寮はありませんが、大学周辺に多くの学生向けの民間アパートやワンルームマンションがありますので、それらを利用してください。なお、民間アパート等のあつ旋については大学生協にお問い合わせください。

アルバイト

本学ではアルバイトの紹介は行っていません。
なお、学生生活においてアルバイトは二義的なものであり学業に影響がないように心がけましょう。

キャンパスマップ

Campus Map

紀三井寺キャンパス

本学の紀三井寺キャンパスは、「海・森・命」をデザインキーワードに北側の学部は和歌浦に浮かぶ「玉津島山」に見立てた9棟の建物群からなり、南側の病院棟では、波のイメージの曲線や森のイメージの緑色が使われています。東側には水路状の池と植栽を施し、それを廻る遊歩道を設け患者や一般の人々に憩いの場を提供しています。図書館の壁には「生命の潮流」が描かれており、研究棟の玄関には「紀国山海宝船」、3階から10階には海から森そして天へと巡回するアートワークが施されています。

また、平成25年度末には附属病院（東棟）が完成し、県民医療枠や地域医療枠の学生が卒後、医師として専門医や学位を取得できるよう、キャリア形成の支援をより充実して行えるようになりました。

さらに、令和2年9月には、医学部、保健看護学部、薬学部の3学部が共同で研究を行うことなどを目的とした次世代医療研究センターが完成しました。

- ①基礎教育棟 ②実習棟 ③研究棟
- ④次世代医療研究センター
- ⑤R1・動物実験施設 ⑥福利厚生棟
- ⑦講堂 ⑧図書館 ⑨管理棟
- ⑩高度医療人育成センター
- ⑪附属病院(中央棟) ⑫附属病院(東棟)
- ⑬立体駐車場 ⑭エネルギーセンター
- ⑮体育館



死の掬いの碑



①基礎教育棟



⑥食堂(福利厚生棟内)



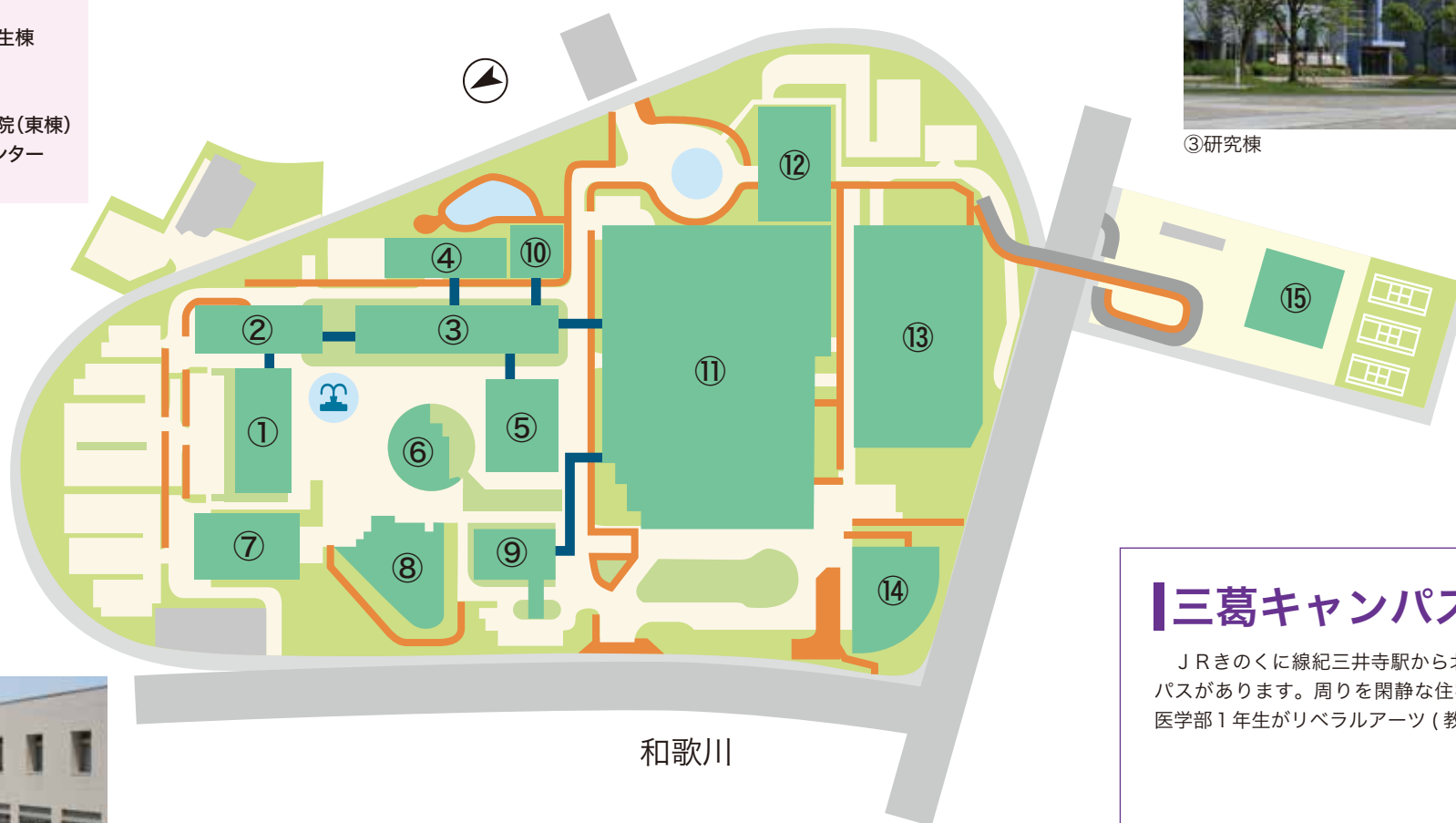
⑥福利厚生棟・⑧図書館・噴水



⑧図書館



正門



③研究棟



④次世代医療研究センター



⑩高度医療人育成センター



⑮体育館



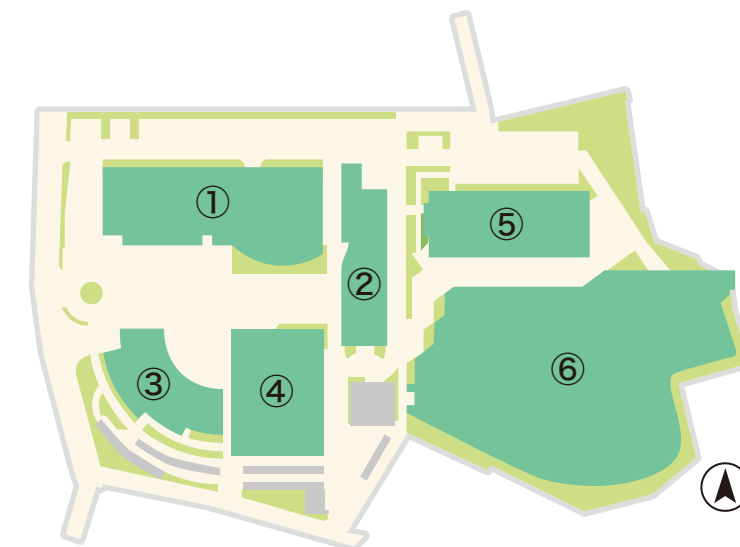
⑪ローソン(附属病院1階にあります。)



⑪附属病院

三葛キャンパス

JRきのくに線紀三井寺駅から北へ約1kmの位置に本学の三葛キャンパスがあります。周りを閑静な住宅街に囲まれたこのキャンパスでは、医学部1年生がリベラルアーツ(教養教育)を中心に学んでいます。



三葛キャンパス

- ①管理・校舎棟 ②研究棟
- ③図書館棟 ④体育館棟
- ⑤医学部三葛教育棟 ⑥グラウンド